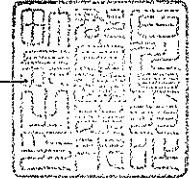




宝建第 35 号
平成19年5月10日

国土交通省道路局長 様

石川県羽咋郡宝達志水町長 中 野 茂

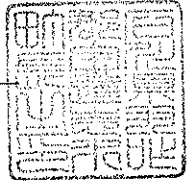


中期的な計画の作成にあたっての意見書について

標記のことについて、別添のとおり提出いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見書

宝達志水町長 中野 茂



重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1. 必要な道路を、必要な時に、必要最小限の経費で作るためにも、地域の道路整備を求める声に対し、その道路整備の必要性を具体的に精査した上で整備計画を立案するとともに、策定した整備計画に対する理解・共感が得られよう説明とスケジュール管理の徹底を図る政策が必要である。

このため、整備計画の作成に際しては、地域における道路に代わる移動・輸送機関の有無や整備状況の把握、地域のまちづくり計画における道路整備への期待度、道路整備が地域活性化に果たす役割等、広く地域の意見を吸い上げるためにも、これまでもまして、各種シンポジウムの開催を求める。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべき事。

最近は少し変化してきているが、以前のような、1日5,000台通る道路も、1日500台通る道路も国道は国道、同じ規格同じ規模で無くてはならないと言ったような金太郎飴のような道路整備計画は不要であり、100万都市には100万都市にあったような道路整備を、5万都市には5万都市にあったような道路整備を行うことが必要である。

道路は網の目のように整備されてこそ、その役割と効果を最大限に発揮できるところから、その整備については迅速化が求められている。

そこで、道路整備に際しては、何が何でも4車線と言った様な1点豪華主義ではなく、具体的には、最近の高速道路整備の手法に見られるように、無理に全線4車線化を求めず、2車線プラス歩道で十分な地域では、2車線プラス歩道での整備を推進すると言った柔軟な発想により、限られた財源の中、より幅広く道路網の整備を図ることが必要であると考えている。

3. その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見

当町での道路状況ですが、幹線であります国道159号は幅員は狭く、歩道も完全に整備されていない状況であります。現在一部自転車歩行者道整備を進めていただいておりますが、まだまだ未整備の箇所がたくさんございます。

国道159号は、能登から加賀への幹線道路でもあります。今年3月の能登半島地震災害時には、有料道路の通行止めに伴い数多くの車両が通行しております。

このような状況も踏まえ、現在羽咋市・宝達志水町とで通称羽咋バイパスの早期着工認可の陳情を申し上げております。この様に地方において真に道路整備を地域一体となって必要としている自治体もあります。

以上の事から、地方ではまだまだ道路整備は十分ではなく、また、柔軟な発想による道路整備を促進すれば、まだまだ道路整備に要する財源は不足しており、道路特定財源の一般財源化には絶対反対である。

どうしても一般財源化を図るのであれば、道路関係諸税の暫定税率課税は道路整備が十分でなく、さらなる道路整備の促進を求めてやまない、我々地方に住むものにとって許すことのできない事であり、道路関係諸税の暫定税率課税を本則課税に戻すことを含めて、徹底的に論議する事を強く要望する。